

燃料費とCO₂排出量を大幅削減 次世代電源「マルチハイブリッドシステム」が建設現場で正式採用

株式会社アクティオ

総合建設機械レンタルの株式会社アクティオ(本社:東京都中央区日本橋、代表取締役社長兼 COO:小沼直人、以下アクティオ)は、株式会社やまびこ(本社:東京都青梅市、代表取締役社長執行役員:久保浩、以下やまびこ)開発の「マルチハイブリッドシステム」が、建設現場における仮設事務所用電源として正式に採用され、レンタル提供を開始しました。

マルチハイブリッドシステムは、発電機と蓄電池を組み合わせ、必要な電力を最適に制御することで、従来のディーゼル発電機に比べ、燃料消費量および環境負荷を大幅に低減しながら、安定した電源供給を可能とする次世代型の電源システムです。今回の導入は、建設現場の仮設電源としては国内でも先進的な事例となります。



工事現場仮設事務所に設置されたマルチハイブリッドシステム

■ 本導入のポイント

1. 燃料費を従来比最大約9割削減

従来、電源の引けない建設現場の仮設事務所では、エアコンやパソコンなどの日常的な電源に加え、夜間照明や監視カメラを使用するため、発電機を24時間常時稼働させる必要がありました。本システムの導入により、発電機の稼働時間および燃料使用量を最大約9割削減することが可能となります。

従来の25kVAのディーゼル発電機^{※1}との比較においては、軽油使用時で年間約240万円、リニューアブルディーゼル(RD)^{※2}使用時で年間約800万円^{※3}の燃料費削減効果が見込まれます。

なお、削減率は日照量や設置条件に左右され、本試算は当該現場太陽光パネル(5.8kW)を仮設ハウス屋根に設置した条件下で算出したものです。太陽光パネルの容量が大きくなるほど、さらなる削減効果が期待できます。

2. 実質 CO2 排出量ゼロを実現

リニューアブルディーゼルと組み合わせることで、現場運用時の CO2 排出量を実質ゼロレベルまで低減※4します。

3. 現場環境の改善と省力化

発電機の稼働時間低減により、騒音や排出ガスを抑制し、作業環境の改善と作業員の負担軽減につながります。また、遠隔監視機能により稼働状況をリアルタイムで把握可能とし、巡回・点検作業の省力化と安定運用を実現します。

アクティオは「レンサルティング」のノウハウを活かし、脱炭素社会の実現に貢献する製品やサービスを提供していきます。

※1 従来の 25kVA ディーゼル発電機 24 時間稼働の場合

※2 廃食油や廃動植物油等を原料として製造される次世代型バイオ燃料

※3 やまびこ試算

※4 現場運用時の排出量を対象としており、製造・輸送工程を含むライフサイクルアセスメント(LCA)全体の排出量を示すものではありません

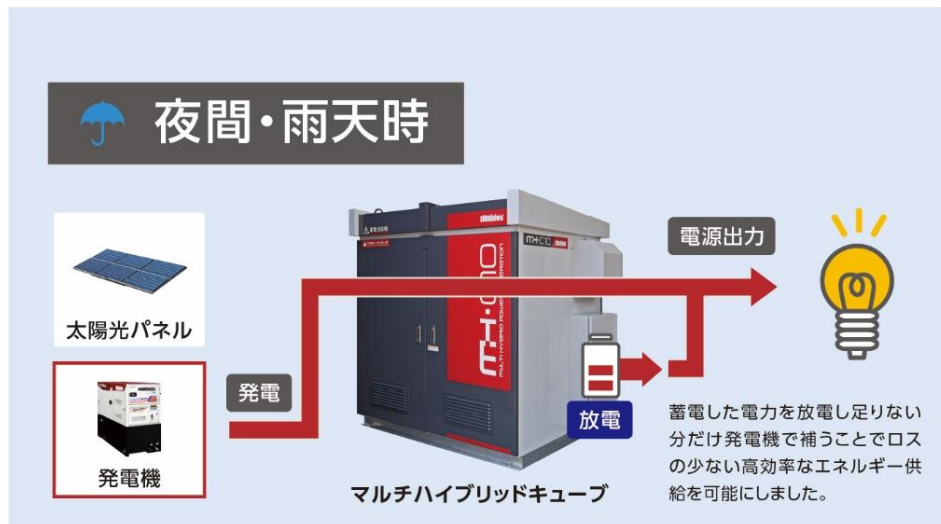
■マルチハイブリッドシステム構成



※5 太陽光パネルは、使用者様のご手配となります

■マルチハイブリッドシステム概念図





■アクティオが展開する“レンサルティング”とは



アクティオのコンセプトである「レンサルティング」は「レンタル」と「コンサルティング」を合わせた造語で、商標登録しています。会長の小沼光雄は著書の中で次のように紹介します。『従来、建機の世界では「つくる」「売る」という要素が主だったところに、「知恵やノウハウをプラスして貸す」という新たな価値提案をビジネスとして行ったわけです』（算数とハートの経営 2014年 幻冬舎）。現在の建設機械は、非常に高度化しており、せっかくの機能も、現場で最大限に活用することは難しくなっています。目的を果たすため、状況に応じてどの機能をどのように使うのか。アクティオは単に機

械を貸すだけでなく、専門的なノウハウを持ってサポートします。建設機械を熟知する専門レンタル会社だからこそ可能な、しかしレンタルの枠組みを飛び出した提案型のサービスがレンサルティング。時代とともに、その意義を拡大し、進化を続けています。

【アクティオ公式サイト】<https://www.aktio.co.jp/>

【アクティオ Facebook ページ】<https://www.facebook.com/aktio.jp/>

■本リリースに関するお問い合わせ先

株式会社アクティオ 広報部 担当:成澤、深沢

TEL:03-6262-7867 FAX:03-6262-7982 e-mail:koho@aktio.co.jp